

エドガー・ケイシーのすべて in 大阪 (2019.8.31)
質疑応答集

Q: 先生のクリニックでは、ガン患者へのフラレンのセラピーを受けられるのでしょうか？
フラレンは手に入るのでしょうか。

今後、ケイシー療法と漢方や鍼灸を取り入れた症例やセミナーなどがありましたら、是非学ばせていただきたいと思います。

先生の西洋医学に囚われない見識の広さと、探究精神にはいつもお力をいただいています。ありがとうございます。

A: すでに木本先生は、漢方とフラレンを利用した療法に取り組んでおられます。将来、木本先生のクリニックでもさらに本格的なフラレン+フォトセラピーが受けられるようになるかも知れません^^; そうなると私も嬉しいです (光田)。

Q: 右顔面マヒ (ハート症候群) の治療法について知りたいのです。
よろしく願いいたします。

A: 麻痺の原因にもよりますが、頸椎・胸椎上部に歪みがないか確認します。頸椎・胸椎上部にサブラクセーションが存在する場合は、オステオパシーなどの手技で矯正するか、ピーナッツオイルなどを用いたオイルマッサージで解消します。(数ヶ月)

リンパの流れが悪くて麻痺を起こしている場合は、腕神経叢、太陽神経叢、頭部、麻痺を起こしている患部、さらには、座骨神経、足の裏に対して、バイオレットレイによる電氣的な刺激を加えます。これを毎日5分から10分ほど行います。(数ヶ月)

過去生で人の容貌をあざ笑った人が、そのカルマで顔面麻痺になっているケースもあります。そのような場合は、自分の心を清め、高めることが治療法になります。(1年くらい)

Q: 食事療法での調理道具ですが、「フライパンは鉄が良い」など、こだわりをもって購入した方が良いのであれば教えて下さい。(特にヤカンとフライパンはよく使うので知りたいです)

A: アルミ製品を避けるのは重要です。

Q: 子宮頸癌ワクチンのデトックスの仕方を知りたいです。

長女(25歳)次女(22歳) 6~7年前に受けました。長女は副作用が出て生活に支障が出る時があります。一度は歩けない時もあり、一時期、高校に行けない時もありました。今も普通に働けないので休み休み働いています。

A：ヒマシ油パックを右脇腹から盲腸にかけて、1日1時間3日連続で行い、4日休止して、同じ1週間のサイクルを繰り返す。これを約1ヶ月やってみます。ヒマシ油パックを行う場合、パックをはずしたら薄い重曹水で拭き取ることと、3日目の夜に大さじ2杯ほどオリーブオイルを飲むことが大切です。1ヶ月おこなったら、2週間くらい休んで、再び同じことを行います。これを半年くらい行ってみます。

子宮や膣内にトラブルがある場合は、グライコサイモリンまたはアルカサイモリンを溶かした溶液で「膣洗浄」することも有望です。

Q：原油シャンプーの効果はどの程度ありますか？

A：八割くらいの人には効果があります。特に薄毛になりかけている人には卓効があります。甲状腺のトラブルがなく、毛根が残っていれば、可能性はあります。

Q：憑依の治療の場合、施術者は憑依霊に対する防御とエンパス体質の人などは、どのように防御すればよいか？

A：まず施術者は、心身共に健全でないといけません。清い心と、きれいに整った背骨を有していることが重要です。その上で、患者の特定部位（頸椎3番、腕神経叢、胸椎9番、腰椎4番）に対して、バイオレットレイを4～5分当てます。この時、患者の体内にアルコールが少しでも残っているとはいけません。

Q：大人の発達障害（ひきこもり）に対しての方法はありますか？

A：かなりの確率で出産時に脊柱に歪みを残したことが考えられます。

- ・食事療法で血液を浄化すること
 - ・脊柱が適切な状態にあること（前屈みや側湾になっていないかどうか）
 - ・尾骨が曲がっていないかどうかチェックして、異常があれば、時間をかけて矯正する。
 - ・脊柱を中心にオイルマッサージを施す
 - ・自然の中に連れ出し、生命の営みを観察させる（植物の成長、昆虫の成長など）。
 - ・簡単な家事手伝いをさせる。（自分の人生が役立っているという実感を与える）
 - ・筋骨格系が整ってきたなら、インピーダンス装置という電気装置で体に気力を与える
-

Q：医学・科学等について当時の知識を逸脱した場合はどうしていたのか

A：当時の医学になれば、ケイシーのリーディングが装置の作り方や、薬剤の調合の仕方を指示しました。そのような装置としては、インピーダンス装置やウエットセル装置、フラッシュ+フォトセラピーなどがある。

Q：ケイシーに知識を与えていたのは人類の蓄積されたすべての知識（アカシックレコード）を有する者、世界なのか（霊界）

A：治療に関しては、アカシックレコードまで到達しなくても、依頼者の無意識から情報を取得し、必要な治療法をアドバイスすることができました。

Q：父が胃癌と診断され、ひまし油のシップを数回したところで入院してしまいました。（胃と腸をつなぐ幽門部にガンができており食事をとれない状態になったため）
現在は幽門部にステントを挿入して少しずつ食事がとれるようになり退院できました。ステントを挿入した状態でもひまし油の温シップをしてもよいでしょうか？
また、何か良い治療法はありますか？オペや内服の治療は一切せず他の治療法で試しています。

A：がんに関しては食事療法がメインです。「エドガー・ケイシー療法のすべて 第2巻」（ヒカルランド）をご参照ください。ニレ茶を毎回食事の15分くらい前に服用するのも重要です。

Q：パーキンソン病の治療について

食事療法とオイルマッサージ（ピーナッツオイル・オリーブオイル）を始めて21ヶ月たちます。劇的に改善は見られませんが、何かさらにおすすめの治療法があれば教えていただきたいです。

オイルマッサージは背骨に沿って、腕→指先、ひざ下→足先をしています。毎晩しています。食事療法はメニューがワンパターンになりがちなのですが、メニューなど推奨はありますか？魚の煮付けはてんさい糖なら使ってもよいですか？

A：パーキンソンであれば、その他に、電気療法が必要です。軽度のパーキンソンであればインピーダンス装置、重度のパーキンソンであればウエットセル装置を使用することになります。

また食事にはできるだけニンジンとゼラチンを摂るようにします。てんさい糖であれば、控え見に使ってもよいです。

Q: 本日は貴重なお話をありがとうございました。ご講演の前に股関節のことでご質問をさせて頂きました。

ピーナツオイルとゼラチンの情報を頂きましたが、是非もう少し教えていただきたく書かせていただきました。(情報ありがとうございました。)

股関節は臼蓋形成不全です。変形性股関節症に進行しています。(現在は毎日(週5回程)ニンジンジュースを飲んでます。レタス、葉物野菜はたくさん食べています)

ピーナツオイルでのマッサージや食生活におきましてアドバイスなどございましたら教えて頂きますようお願いいたします

A: 揚げ物、豚肉を禁食とし、ニンジンをジュースにされる場合は、ゆっくり噛むように飲みます。

患部は毎晩ピーナツオイルでマッサージします。

これで良い成果が得られなければ、アトミダインという薬剤の服用が必要かもしれません。

Q: アトピー(+掌蹠膿疱症、他は飛蚊症・乱視・目眩 etc) が悪化してから10年ほど好きな服も着れず、シーツにも浸出液がついたりで悩み中です。今年2月ハワイで腸洗浄を受けたり(5日位しましたが水ばかりで、あまり便がでませんでした) 食事もある程度気を付けたりしていますが治りません。一度ひまし油をお腹に塗ったらアトピーの出ていなかったお腹にブツブツができ、かゆくなったので止めてしまいました。夜、眠っている時長時間放置していたこと or ちゃんとふきとらなかったことが原因でしょうか? お時間のある時に教えて下さい。今日はありがとうございました。

A: アトピーは食事療法が特に重要です。

獣の肉、揚げ物、白砂糖を含むものは禁食です。

乳製品もしばらく禁食です。

ナス科(ナス、トマト、ジャガイモ、パプリカ、ピーマン、唐辛子、コショウ)は禁食にします。あと、豆類(豆乳、豆腐、枝豆、空豆、サヤエンドウの類)は基本的に食べません。ただし、納豆や味噌、醤油のように大豆を発酵させた場合は大丈夫です。

果物では、生のリンゴ、バナナ、イチゴなどのベリー類、メロンなどを避けます。

果物で勧められるのは、ブドウ、アボガド、梨、スイカなどです。

野菜で勧められるのは、クレソン、セロリ、レタス、ニンジン、白菜、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、水菜、チンゲンサイ、春菊、ほうれん草などの、新鮮な緑の葉物野菜です。

ヒマシ油パックを行うと、体内毒素が剥がされますので、数日、皮膚が悪化しますが、それを過ぎると良くなります。なので、3日行ったら4日休む、というパターンを4週間くらい行います。それから1ヶ月くらい休んで様子を見て、必要であれば、同じパターンを繰り返します。ヒマシ油パックを外した時は、必ず薄い重曹水で拭き取ります。

また、ヒマシ油パックの3日目の夜には、オリーブオイルを大さじ2杯服用します。

あと、食事の15分くらい前に、ニレ茶を飲んでおきます。

場合によって、月に1回くらいのペースで腸内洗浄を行います。
あと、背骨の矯正、心をうららかに保つ練習も重要です。

Q：やるべきことに手がつけられません。やりたいことに逃げています。どうすれば改善しますか？

A：おそらく食生活の影響で、血液のクオリティーが劣化しています。まずは、食事療法を励行して血液をきれいにする事です。

背骨が曲がっていると、思考が集中できません。脊柱へのオイルマッサージをときどき行ったり、背骨の矯正を受けることも良いです。

次に自己分析をして、自分にはどのような才能があり、それをどのように活かすと、周囲の人々に喜んでもらえるかをじっくり考えます。さらに良いのは、どのように生きれば、私をお造りになった神が喜ばれるかを考えて、そこで見出された生き方に自分を注いでみます。

最初から、遠大なことを試みるのではなく、人生は一步一步、少しずつ進むものであることを納得し、一歩進めたところで、何事かを達成したことを喜ぶ練習をします。そして、それを徐々に大きくして行きます。時間をかけてゆっくりと。

Q：舌癌の治療法について

A：

・ステージによっては手術です。

・血液をきれいにする食事療法を徹底します「エドガー・ケイシー療法のすべて第2巻」(ヒカルランド)をご参照下さい。・毎日数回、グライコサイモリンまたはアルカサイモリンでうがいをします。

・ヒマシ油にフラーレンを1回分混ぜて、それを舌がんのところに直接塗布するのも有望です。

・フラーレンを服用するのも有望です。その場合、フラーレン服用後、15分くらいしたところで、舌に血液を送っていると思われる顎の辺りの血管に向けて、バイオレットレイを5分くらい当てて電氣的に刺激する。

Q：リンパ節転移している場合の、治療法について

A：

・なんといっても食事療法！

・ピーナッツオイルとオリーブオイルを半々混ぜたようなマッサージオイルを用いて、おだやかなオイルマッサージを施す。

・リンパ節に転移がある場合は、フラーレン服用後 30 分したところで、当該リンパ節を中心に、赤色ランプ（こたつや電気ヒーターなどで代用可能）の赤い光を患部に当てます。

以上です。

宇宙の祝福が豊かに注がれますように！